

令和4年春期 富岡第二地区推進連絡会

1 日時

令和4年3月27日（日） 16:00～17:45

2 場所

富岡会館

3 参加者

(地域側) 自治体等地域団体関係	17名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	6名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	3名

4 開会のあいさつ（地区連合町内会長）

・コロナの感染状況が落ち着いてきているとはいえ、まだまだ安心できる状況には至っておりません。新年度に向けては、基本的にはこれまでの反省を踏まえ、活動してきた内容を中心に展開していきたいと思っております。第4期も皆様と一緒に進めていきたいのでよろしく申し上げます。

5 区長あいさつ（区長）

・富岡第二地区の皆さまにおかれましては、感染症対策を取りながら地域活動を継続・再開されていることに、心から感謝申し上げます。今年度もコロナ禍の中、11月のとみにウォークラリーは久々の行事で、スタッフを含め300人近くの参加があり、地域の皆さまが待ち望んでいたことが伝わってきました。

・皆さまのご協力を得て、第4期地域福祉保健計画「金沢ささえあいプラン」を区域計画、地区別計画ともに策定することができました。地区別計画のリーフレットは広報よこはま3月号とともに各家庭に配付いただきました。皆さまの活動により「誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり」を実現できると考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

6 「第4期地域福祉保健計画について」

(1) 第4期金沢区地域福祉保健計画（金沢ささえあいプラン）

紙面にて、計画説明。

(高齢・障害支援課長)

・この計画は、年齢や性別、障害の有無や国籍などに関わらず、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちを目指して、地域の皆さまと関係機関、区役所が協働して取り組むための計画です。5年に1度見直しなが

ら推進し、このたび第4期計画が完成しました。計画は策定して終わりではなく、計画を知っていただき、地域の活動に関わる方を増やしていくことが重要であると考えています。引き続きよろしくお願いいたします。

(2) 第4期地区別地域福祉保健計画（富岡第二地区）

（地区社会福祉協議会事務局長）

・第4期はコロナ禍ではじまり地域活動のあり方、地域のつながりづくりを再検討すると同時にすべての地域活動について、感染防止対策、3密（密閉、密集、密接）、マスクの着用、検温、手指、使用器具の消毒を実施するが、以前のような活動は難しそうです。地域のより多くの皆さまと共に考え、地域活動を前に進めます。

第4期地区別計画策定シートについて説明します。

「健やかな子ども、青少年を育てます」

- 子育てサロンの開催は、感染予防対策を行って実施します。
- 小学生の通学支援は、5チームで曜日を固定して1年間下校児童の見守りを実施します。
- 子ども会の再組織化は、登校班をベースに地区の子ども達が楽しく参加できる組織を検討、再構築します。
- 夏休みラジオ体操は、夏休みに小学生を対象とするラジオ体操を実施します。
- 社会を明るくする運動は、令和3年度は地区大会、ミニ集会はコロナ感染防止のため中止でしたが、今年度は開催します。

「いろいろな行事を通じて、地域の連携をつくっていきます」

- 異世代交流イベント、ウォークラリー大会、もちつき大会、運動会はコロナ禍でも感染予防対策を行って行事を実施します。

「地域で健康づくりを進めます」

- コーラス教室ゆりかご、かもめ体操、ウォーキング、グラウンドゴルフは、コロナ禍でも感染予防対策を行って行事を実施します。
- 高齢者の新たな活動の場や機会の創出は子ども達と高齢者が一緒に花壇で植物を育てることを通じて高齢者の活動の拡大や健康づくりを実施します。

「顔の見えるまちづくりを進めます」

- 認知症に関する講座の実施・支援は、富二地区では認知症予防と認知症を理解する講座への参加を実施しています。認知症予防の為の講座スリープA方式（明るく、頭を使って、あきらめない）を富岡会館とジュピのえんがわの2か所で実施します。

2自治会及び4町内会の2巡目認知症サポーター養成講座は3年度に南部町内会、シーサイドコーポ町内会で開催しました。今年度は東部町内会、ツインミュージズ、富岡自治会、団地とみおかで開催予定です。

- ひとり暮らし高齢者世帯等への配食と見守り訪問の実施は、ひとり暮らし高齢者を対象に年3回実施します。コロナ禍でも日常気になる方の見守り訪問また電話によるひとり暮らし高齢者の安否確認を月1回行います。
- 年齢にかかわらず、支援が必要な方への支援は、必要な方へのゆるやかな見守りや声掛けなど地域でできる支援を行います。
- 障がい児・者の理解・活動支援は、交流する機会をつくり、障がいの理解を深めます。
- 災害時要援護者への支援は、各自治会、町内会の取組状況について情報を共有し災害時に備えた取組を進めます。

「地域のさまざまな活動を広く周知します」

- 広報誌の発行、地域の活動が皆さまの目に留まるよう地区社会福祉協議会の広報誌「みんなの輪」を年1回発行します。

これからもコロナ禍は続くと思います。その中でも第4期地区別計画を進めていかなければなりません。地域の皆さま、行政の担当者と一緒に活動を盛り上げていきたいと思っています。

(3) 意見交換（進行：地区連合町内会長）

- ・ 子育てサロン「フリースペース ころころ」の開催は14組28名という三密回避から制限されている。2、3月は子どもの感染が多く休みとなったが、おもちゃの消毒等を含め、安全対策をしながら進めていきたい。（主任児童委員）
- ・ 通学支援は1、3年生の下校時時間に合わせて実施した。新年度の4月より年間を通しての下校時の見守りを実施します。（地区連合町内会長）
- ・ 夏休みラジオ体操は公園、広場があるので可能と思われるが、幹線道路を横断してまで実施するとは考えていない。（地区連合町内会長）
- ・ 異世代イベントの行事関係はコロナ対策での実施を考えていく。（地区連合町内会長、地区社協事務局長、地区民児協副会長、地区連合町内会副会長）
3大行事のウォークラリーは対策をして開催したが、他から見ると対策が十分ではないと思われる。運動会やもちつき大会はどうしても三密が避けられない状況である。屋外、屋内でのコロナに対するガイドライン策定を進めてもらいたい。地域のつながりを考えていきたいが、現状では開催するにも難しく、様々な対策の工夫が必要である。運動会については、小中学校の

感染予防対策を参考にしてもよいのでないか。第4期は何かアイデアがないか、今後模索して進めていきたい。

- ・ グラウンドゴルフは第2・4水曜日に変える。かもめ体操は現在13:30からだだが午前中に変更できないのか。長い間この時間で行っているので少しずつ周知しながら開催時間を検討していく。(地区連合町内会長、地区民児協副会長、保活地区代表)
- ・ 認知症予防講座のスリーAだが、男性を増やしてほしい。現在2名です。(地区社協事務局長、地区民児協副会長)
- ・ ひとり暮らしの配食は、コロナ禍のため、業者からの弁当だが、早く手作りを渡したい。(地区民児協会会長)
- ・ 民生委員が見守りしているのは75歳以上一人暮らしの方。年齢にかかわらず支援が必要な方とは、75歳未満でも家に引きこもりがちの方だと、体力や認知力が落ちてしまう方がいる。地域の活動などにあまり参加されない方だと、支援機関が気づいたときにはもう自宅での生活が難しくなっていることが多い。地域で「おかしいな」と思う方に気づいたら、ぜひ区役所やケアプラザに情報提供いただきたい。早いうちから支援することで、介護保険のサービスなどを使いながら、住み慣れた自宅で生活を続けることができる。(地区民児協会会長、高齢・障害支援課長)

7 令和4年度区づくり推進費等説明(地域振興課地域力推進担当課長)

- ・ 紙面にて、予算説明。

8 その他(福祉保健センター長)

・ 金沢区では3年間お世話になりました。最初の年、平成31年は台風により大きな被害はありましたが、運動会、ウォークラリー、もちつき大会と行事は開催されました。特にもちつき大会はとても記憶に残っています。その後はコロナ禍となりましたが、富二地区は早い時期から地域の皆さまが対策を工夫して活動を再開してきました。活動の重要性を本当に勉強させられました。

4月より南区へ異動となります。3年間どうもありがとうございました。

9 閉会のあいさつ(地区連合町内会副会長)

- ・ 本日は、貴重なご意見ありがとうございました。コロナで活動が自粛されましたが、4期は計画通りに行いたいですし、感染対策を十分に実施し進めたいと思います。どうもありがとうございました。

～閉会～